

おみせやさんごっこ商品づくり

ねらい：お店屋さんごっこに向けて商品づくりを楽しむ

対象：4歳児さくら組
作成日：2018年9月7日
作成者：山川可純



3かいはいった

かわいくできた

カチカチなった

保育の振り返り

お店屋さんごっこをするにあたって、さくら組ではまつぼっくりのけん玉・紙皿カスタネットを子どもたちで作りました。けん玉を作っている時に「このまつぼっくりおおきいで」「ちいさいまつぼっくりのほうがいい」と友達と会話を楽しみながら商品作りをしていました。（数量や図形への関心・感覚）また毛糸の長さは好きな長さを子どもたちで切りましたが、「ぼくはながくしよ」「このくらいがええかな」と毛糸の長さを決めました。実際につけてみると「けいとがながすぎた・・・」と思い長さを少し短くし、どのくらいの長さにするか何度か試す姿が見られました。（思考力の芽生え）まつぼっくりが紙コップに入るとだんだんと楽しくなり何回入るか友達と競い合う姿も見られました。

紙皿カスタネットづくりではウサギやネズミの顔を描き紙皿にキャップを2つ合わさるように子どもたちで貼り付けました。「カチカチならん」と、キャップが重ならないと音が鳴らないことに気が付き、キャップの位置を少しずつずらす姿も見られました。商品作りをする中で子どもたち自身が様々な事に気が付き作った物で遊ぶ楽しさを味わう事ができました。